

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 26

福岡市大字箱崎
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL 092-64-1101)
内線 5337

目 次

- ・プログラムライブラリ開発計画の公募について 1
- ・年末年始の業務について 6

◇ プログラムライブラリ開発計画の公募について

九州大学大型計算機センターにおけるプログラムライブラリは、①メーカー提供のSSL、②センターが開発収集したプログラム、③利用者より提供されたプログラム、から成りたっています。

今までは、①と③がライブラリの主な部分を占め、利用者の方々の御協力により、少しずつその内容も豊富になってきましたが、まだまだ十分とはいえません。②については、センター内で開発したプログラムの他、利用者の協力を得て、センターのライブラリ開発計画の中に組込まれ、開発または収集された数例があります。(東大センターライブラリ(原子核関係のプログラム群)の書き替え、代数方程式の根を求めるサブルーチンの開発など)

センターでは、今後、計画的なライブラリの開発収集を重点的に行なっていこうと考えていますが、どのようなプログラムの開発収集が望まれているのか、センターではつかみにくく、またつかみ得たとしても、センター内だけでは到底その作業をこなしきれものではない、というのが実情です。

そこで、利用者の方々のプログラム開発計画の内、ライブラリとして登録できるものを、センターのライブラリ開発計画の中にとり入れ、センターのライブラリの充実を図りたいと思いますので、利用者の方々の御協力をお願いいたします。

以下の要領で、プログラムライブラリ開発計画を公募いたします。なお、今回の公募は、昭和47年2月末日締切りとし、実際の作業開始は、47年4月以後としますが、それ以後は、状況に応じて公募を行ないます。

開発計画は、新たに作成されるプログラムの他に、他所ですでに開発されているプログラムの書替も含みます。

なお、開発作業に際しては、できるだけ分野毎にまとまって系統的に作業をすすめていただくよう協力していただきたいと思っています。

開発計画をお持ちの方は、様式1のプログラムライブラリ開発課題申請書に必要事項を記入し、センターライブラリ室に提出してください。センター内での検討、プログラムライブラリ委員会の審議を経て、運営委員会の承認を得られたものは、センターでの開発計画として認められたことになり、プログラム作成のための便宜が図られます。開発中は、適宜に経過報告をしていただき、完了した場合は、終了報告をしていただくこととなります。

ライブラリ開発計画の募集要項

1. 対象となる課題は

- (イ) 広く各分野で使われる可能性のあるプログラム
- (ロ) ある専門分野に限られるが、その分野の中では広く使われる可能性のあるプログラムのいずれかであり、できあがったプログラムは、センターのライブラリとして登録可能であること。

2. 公募は状況に応じて行なう。

さしあたって昭和47年度は4月に作業を開始するために、47年2月末締切りとする。

3. 1つの開発課題に対してライブラリ開発用の課題番号を1つ割当てる。この場合の計算時間に要する経費はセンター負担とする。

4. 計算依頼などは、通常の受付手続きに従う。

ただし、開発作業上必要なファイル登録申請、特殊ジョブ申請（標準的特殊ジョブを除く）は、ライブラリ室を通じて申請する。

5. 開発作業中は、2ヶ月毎に作業の経過報告（様式2 開発進行状況報告書）を提出し、作業が終了した場合は、終了報告（様式2 開発終了報告書）ならびにライブラリプログラム説明書を提出すること。

様式 1

センター長	次 長	事務長	開発部長	業務掛長	ライブラリ 室 長

プログラムライブラリ開発課題申請書

九州大学大型計算機センター

センター長 大 野 克 郎 殿

下記のようにライブラリプログラムを開発することを
申請します。

受付番号	
受付年月日	
開発番号	

開 発 課 題					
予想作業期間	年 月 日から		年 月 日まで		
予想計算時間					
開 発 者	責任者氏名	所 属	身 分		
	TEL()-()-()内線()				
	担当者氏名				
プログラムの 形 式	a. コンプリートプログラム	b. サブルーチン	c. 関 数		
		d. 手 続 き	e. 関数手続き		
使 用 言 語	a. FORTRAN	b. ALGOL	c. FASP		
	d. PL/I	e. その他()			
使用機器構成	a. カードリーダー	b. ラインプリンタ	c. カードパンチ	d. 紙テープリーダー	
	e. 磁気テープ()ユニット		f. ディスクバック		
	g. その他()				
プログラムライブラリ委員会附議 (可 ・ 否)					
昭和 年 月 日		委員長			印
上記申請を承認いたします。ついては					
右の課題番号および登録名により開発					
を依頼します。					
昭和 年 月 日					
九州大学大型計算機センター					
センター長 大 野 克 郎 印					

注 1. 太線の枠内に記入してください。

2. プログラムの形式、使用言語は未定の場合は記入しないでください。

開発課題の説明（資料があれば添付してください。）

開発によりもたらされる効果

作業の分担・手順

備 考

様式 2

開発進行状況報告書
開発終了

開発番号	
報告年月日	年 月 日

開発課題	
開発者	氏名 所属 身分 TEL () - () - () 内線 ()
計算時間	現在までの使用時間
	今後の予想時間

開発結果および進行状況（具体的に）

センター長	次 長	事務長	開発部長	業務掛長	ライブラリ室長	受付者

注) 紙面がたりない場合は別紙を添付してください。

◇年末年始の業務について

標記のことについて当大型計算機センターでは次のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

1. 計算依頼ならびに穿孔依頼の受付

年末：昭和46年12月25日(土)正后まで

年始：昭和47年1月6日(木)9時より

ただし12月25日正后までに受付けた計算依頼ならびに穿孔依頼のものについては12月28日(水)正后までに処理し返却する予定ですが、長時間ジョブについてはターンアラウンドタイムがかなり長くなりますので早目に御依頼下さい。

2. オープンパンチ室およびデバック室の使用

年末：昭和46年12月27日(月)17時まで

年始：昭和47年1月6日(木)9時より

ただしオープンパンチ室は25日(土)の正后までは平常どおり予約していただきますが、25日(土)の午後と27日(月)17時までにはフリー使用にいたします。

3. プログラム相談

年末：昭和46年12月25日(土)まで

年始：昭和47年1月10日(月)より

4. 当センターの閉館

12月28日(水)正后より翌年1月5日(水)正后まで閉館いたしますのでこの間利用者は出入できません。

そ の 他

特に地方の利用者は年末に郵便物の遅配、または滞貨によりターンアラウンドタイムがかなり長くなるものと予想されますので早目に御依頼くださるようお願いいたします。